

鳩山邦夫会長を支える確かな力



鳩山邦夫会長を囲んで—左側：岩屋毅氏、右側：石田勝之氏

混迷した社会を友愛の理念で 若い世代に分かりやすい「友愛」を—

四月十三日午後三時より、「月例報告」のため、院内控室に鳩山邦夫会長を萩原直三君と野間健君が訪ねた。「第十七回日韓少年団体指導者協議」の受け入れについてや、友愛の組織作りの方向について指示を仰いだ。

当日は、幸い石田勝之衆議院議員（相談役・元中央常任委員）、岩屋毅前衆議院議員（相談役・元中央常任委員）とも、会うことができ、会長を交えて、しばし友愛の現状や今後について意見を交換した。友愛を支える力が再結集しつつあることを確認できた貴重な機会であった。

なお、岩屋氏は友愛への熱いメッセージを寄せてくられた。（別掲）



発行所

財団法人

日本友愛青年協会
友愛青年連盟
文京区小石川4-21-2
ハイツ小石川201号
電話03-5684-3188
03-5684-3187
Fax.03-5684-3186
発行人 田中恭一
編集人 松井壮一

園田官房副長官を表敬
—首相官邸にて—
韓国との友情について語る園田副長官

歓談する鳩山由紀夫常任顧問と金韓青連会長



日韓友好の組閣記念



乾杯の挨拶をする川手相談役



鋭い質問をする学生の皆さん



金韓青協会長

首相官邸訪問に先立ち、韓青連の金会長一行と鶴山知宏君（東京大学等）本側学生二名との「対話」が国立教育会館・特別会議室で行われた。
若い世代と直接対話を持てる機会を持つことに対し、金会長より感謝の言葉があった。金会長は「将来の日韓の交流には若い皆さんこそ活躍してほしい」との期待があった。学生側からもさまである意見が出され、過去の歴史を学び直すとともに、次世代同士の友情の大切さを感じたようであった。韓国の学生側からさらに訪韓して、韓国の方々の意見の交換ができる機会を要望した。短い時間ではあったが、密度の濃い「対話」となった。
なお、参加した学生は次の通り。
鶴山知宏、金田慎一郎、萩原清行、日比良夫、松繁明佳、石井良美、鈴木早苗（以上、東京大学）、村松真理子、直井恵（慶應義塾大学）、渡辺頭太郎（早稲田大学）
敬称略

学生との対話集会

これに対し、金会長は冒頭に鳩山常任顧問への御礼を述べ、あわせて韓国の青少年指導者はもとより、若い世代の交流がさらに充実するよう述べられた。昼食会は終始和やかな雰囲気のうちに終了した。

第一七回「日韓青少年団体指導者協議会」特集 鳩山由紀夫常任顧問歓迎昼食会を主催 —日韓の青少年交流に新たなページ—

四月十九日、中央青少年団体連絡協議会（略称・中青連）主催の第一七回「日韓青少年指導者協議会」のため、訪日した韓國の金澤（KIM, JIP キム・ジップ）氏等、一行五名の受入ホスト役として、友愛が活躍した。

四月二十日には、鳩山由紀夫常任顧問による歓迎昼食会が都内の「ザ・フォーラム」にて行われた。席上、鳩山常任顧問は、「最も近い隣国である韓国の青少年指導者の皆さんと親しくお会いできたこと」への感謝を述べるとともに、「様々な問題を克服して、更に一段と日韓の友情が深まるることを切望する」と挨拶された。

歓談する鳩山由紀夫常任顧問と金韓青連会長

乾杯の挨拶をする川手相談役

鋭い質問をする学生の皆さん

学生との対話集会

世界をつなぐ友愛国際交流



バリユースクラブのオカさん(左)とスカラタさんと、握手をしてこれからの友好を誓い合う

派遣者名(五名)

- 團長 正本良忠
- 副團長 広島県支部連合会会長
- 團員 佐々木慶久
- 團員 大阪支部
- SEMPATI 航空会社訪問

JICA(国際協力事業)と協力して行つてゐる
「21世紀のための友情計画」青年招へい事業の一約
一ヶ月に亘る受入事業に対
して、相互交流の意味あい
を含めて、この三月一日
(一三日)、青年の受入で
各地でお世話を下さつて
いる友愛メンバーがイン
ドネシアのジャカルタを中
心に訪問した。また同時に、
友愛が独自に交流を行つて
いるロンボク島のヤヤサン
国際ユースセンターを訪問し
た。

滞在日程

- (三月一日) 成田出発(ジャカルタで乗り換え)。バリ・デンパサール到着、
歓迎会
- (二三日) バロンダンス鑑賞、バリユースクラブの新築中の宿泊施設の見学、
キンタマニ高原その他のケチャダンス鑑賞、バリユースクラブの会員との交
流会
- (二四日) デンパサール出発。香港到着、

派遣者名(五名)

- 團長 正本良忠
- 副團長 佐々木慶久
- 團員 大阪支部
- SEMPATI 航空会社訪問



21世紀のための友情計画「青年招へい事業」で来日した青年との歓迎会にて



国際ユースセンターの皆さんと(ロンボク島にて)

アジアへの理解を深める —JICAアフターケア・チーム—

TASPERN 保険会社訪問、大
蔵省表敬、帰国青年との送
別会

(二二日) JICAジャカルタ事務所にて結果報告、大
蔵省表敬

(二三日) 関西空港着、空港にて解散



ユースセンターの青年たちと/右:日本舞踊を披露する澤村仙翠(中川)さん

第三十次東南アジア使節団報告 —バリユースクラブ・香港青年協会を訪問—

友愛本部では、この三月中に、3つのグループを海外に派遣し、各国で友情の絆を強めできました。

- 第30次東南アジア使節団(訪問国:インドネシア・香港)
- JICAアフターケアチーム(インドネシア)
- ドイツ歌曲(リート)コンクール優勝者派遣(オーストリア)

今回で三十回を迎える東南アジアへの使節団の派遣事業ですが、今年はインドネシア(バリ島・香港の二ヶ国を二泊三日づつの駆け足で訪問しました。今回が三十次という区切りのときを迎え、友愛が海外派遣を行う「意味・意義」が問われている派遣でもありました。

派遣者名(九名)

- 團長 池田正雄 東京都支部連合会相談役
- 事務長 三浦厚志 本部事務局
- 團員 田中忠 東京都連(澤村流・花ノ本流事務所)
- 團員 野村明美 友愛舞踏研究会会长
- 岡本鏡子(澤村仙翠)練馬支部
- 中川美佐子(澤村仙翠)練馬支部
- 前田静子 友愛舞踏研究会
- 小松純子 (会社員)
- 杉並支部支部長

(三月二日) 成田出発(ジャカルタで乗り換え)。バリ・デンパサール到着、
(二三日) バロンダンス鑑賞、バリユースクラブの新築中の宿泊施設の見学、
キンタマニ高原その他のケチャダンス鑑賞、バリユースクラブの会員との交
流会

(二四日) デンパサール出発。香港到着、

相互交流を通して 小松 純子

第三十次アジア使節団は、池田団長を始め九名(三月二日成田空港での良
己紹介をして、起動し始めた。気持の良い人はばかりで和氣あいあい、一路バリ
島に向けて出発。私は、第二次使節団
港到着、日暮里にて解散

香港青年協会の金会長と
記念品の交換をする池田団長

東南アジアの国々を訪れたが、その
は、インドネシアのデンパサール空港に
らず、バリ島は今回が初めて、友愛ア
ジア指導者セミナー(受入事業)で出
会った仲間がいるかと思うと、懐かし
さのと嬉しさとで、胸がワクワクして
いたという車で出迎えてくれた。真武さ
んが活躍なさつていたことは、聞い
ていきましたが、実際にその意志を受け
ていいでいる現地の人々に接し、改めて今
まで歩んできた歴史というか、それか
らも交流していく中で、私は何をす
べきかを考えさせられた。バリ島の宗教とい
えば、ヒンズー教とは少し違う
が、インドのヒンズー教とは少し違う
う、日本では考えられない程、宗教が
生活と密になつていて、そして、あらゆ
る宗教のいい所を受け継いでいるよう
だつた。先祖を敬い満月には、神々
にたいして感謝する祭りがあるという。
「日常生活の中では、感謝の気持ちをい
つも持つていて」と、スカラタさんは
いつない気持ち大切に、友愛活動に
役立てたいと思った。





鳩山安子友愛理事長と、西木まさ子婦人会幹事長

友愛婦人会
の歴史
これまでの活動は「友愛四十年史」に詳しく述べられていますが、今後も友愛婦人会の「優しい心」を連盟の運動に生かしていきたいと考えています。

昭和三十三年春以来、地道な活動を続いている友愛婦人の歴史は、格別の重みがあります。

友愛婦人会



活発な意見を交換する婦人会の皆さん



ハウスコンサートで歌う西谷さん



OJABの役員と事務局の皆さんと

西谷さんオーストリア・ウィーンでコンサート開催

西谷美和子 派遣参加者(二名)
島崎照代 参与・練馬支部長
九四年 リートコンクール優勝者
滞在日程 二月二二日～一九日
オーストリア OJAB(オーストリア勤労者年盟)との交流を通して

野原は、もう春がすぐ側に来ている陽気でした。この陽気のせいか、一年ぶりのワインであっても私の歳月の感覚はまるで一ヶ月ぶりのようでもあります。(中略)

今年の音楽会は、一昨年と同じエーバーハール、午後七時半よりW.モーア先生の伴奏でインスブルック出身の若いヴァイオリニスト、マルツさんとの共演となりました。音楽会は会を重ねることになりました。音楽会は会を重ねることになりました。

二月二十五日にウイーン着くと、雪はなく、白から緑へと移つてゆくに盛会になりました。日本大使館より谷口

さんもお見えになり、奥日協会、日本人会、OJABの会員の皆さん達と、温かい雰囲気の中終了、全員パーティーへと流れに行きました。

友愛の皆さんへの参加を、是非お願いしたい、との要請がありました。ローゼンホルムの経営と共に、来年は外国人用学生寮(三百室と四百室)が完成するといふ報告がありました。これはドイツ語、音楽、料理等を勉強したい方には朗報だと思います。友愛青年連盟の会員の皆様はじめ、OGの会員の皆様方、どうかこの機会に姉妹団体との交流がありますます盛んになることを願つています。そのお手伝いは喜んでさせて戴きます。

連盟・参与 島崎照代

さんもお見えになり、奥日協会、日本人会、OJABの会員の皆さん達と、温かい雰囲気の中終了、全員パーティーへと流れに行きました。

友愛クラブ

第二十九回 四月二三日 総会
第二十九回 五月一一日

在日米国商工会議所副会頭
グレン・フクシマ先生

第三〇回 六月八日
「アメリカから見た日米関係の問題点」

第三〇回 六月八日
政治評論家 飯島 清先生

第三〇回 七月二三日
「乱の政局をどう乗り切るか」

第三〇回 九月一四日
衆議院議員 新党さきがけ代表代行 田中秀征先生

第三〇回 九月一四日
政治評論家 飯島 清先生

第三〇回 九月一四日
「PKOと自衛隊について」

第三〇回 一月九日
衆議院議員 日本社会党 五島正規先生

第三〇回 一月九日
「政局この一年を振り返って」

第三〇回 一月九日
衆議院議員 中谷 元先生
「最近の政局について」

第三〇回 一月九日
衆議院議員 栗本慎一郎先生
「時事放談」

第三〇回 一月九日
日本大学理工学部教授 守屋喜久夫先生

第三〇回 一月九日
衆議院議員 中谷 元先生
「PKOと自衛隊について」

第三〇回 一月九日
衆議院議員 日本社会党 五島正規先生
「政界再編はどうなる?」

第三〇回 一月九日
衆議院議員 中谷 元先生
「最近の政局について」

第三〇回 一月九日
衆議院議員 栗本慎一郎先生
「時事放談」

第三〇回 一月九日
日本大学理工学部教授 守屋喜久夫先生

世話人の川手さんと鶴巻さん

第三〇回 一月九日
衆議院議員 中谷 元先生
「最近の政局について」

第三〇回 一月九日
衆議院議員 栗本慎一郎先生
「時事放談」

第三〇回 一月九日
日本大学理工学部教授 守屋喜久夫先生

広告掲載のお願い

本紙発行のため、賛助下さる企業(個人)の方々の広告をお願いしております。一段ヨコ全部で、四万円とさせて頂きます。

(二分の一は二万円、四分の一は一万円)ご連絡頂ければ、ご説明に参上します。宜しくお願いします。

なお、購読料や会費については現在検討中です。次号にてお知らせしますので、こちらの方も宜しくお願いします。

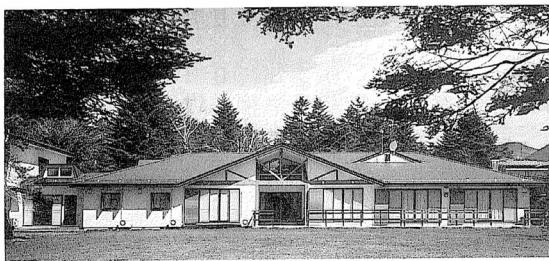
友愛軽井沢山荘 ～ご利用の方法～

友愛軽井沢山荘は、1995年4月にリニューアル・オープンしました。

皆さまの利用を随時、ご利用予定日の6ヶ月より1週間前までいたします。

なお、最大利用人数を50名になります(ベット室を利用した場合)

部屋数は、
洋室(TWIN) 2部屋 2名まで
和室(10畳) 6部屋 6名まで
ベット室 1部屋 10名まで
予備室(4.5畳) 1部屋 2名まで
料金は、人数および部屋の利用の仕方によって変わってきますので、本部事務局までお問い合わせ下さい。
(1名につき 素泊まりで約6,000円)



世話人の川手さんと鶴巻さん

第三〇回 一二月一四日
衆議院議員 栗本慎一郎先生
「時事放談」

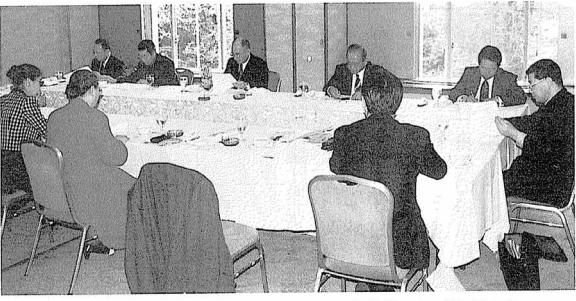
第三〇回 一二月一四日
日本大学理工学部教授 守屋喜久夫先生

第三〇回 一二月一四日
衆議院議員 中谷 元先生
「最近の政局について」

第三〇回 一二月一四日
衆議院議員 栗本慎一郎先生
「時事放談」

第三〇回 一二月一四日
日本大学理工学部教授 守屋喜久夫先生

第一〇八回 三月八日
経済評論家 白鶴大学講師 森木 亮先生
「阪神大震災の現場をみて」
「景気回復か? 本格的空洞化か?
「日本経済の行方を探る」



本年度の活動や予算等について話し合う友愛クラブの皆さん

